

事務事業評価における総括

部 局 名	文化生涯学習部	記入責任者	村上 穰介
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>文化生涯学習部の政策的事業は 38 事業であり、そのうち S 評価は 17 事業、A 評価は 11 事業、B 評価は 4 事業、C 評価は 3 事業、実績なしは 3 事業となりました。</p> <p>C 評価や実績なしとした事業については、新型コロナウイルスの感染拡大により実施できなかったものや当初から実施予定がなかったものであり、これらを除けば一定の成果は得られたと考えています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「各種体育大会等の開催」事業では、市総合体育大会や各種事業を開催した中で、オリンピック出場選手を招き、競技のデモンストレーションを行うなど、一流アスリートとの交流を図ることができました。〔S 評価〕</p> <p>「茅ヶ崎市美術館の指定管理に関する事業」では、展覧会を構成する段階から障害者や子どもとアーティストが参加し、一緒に展示を作り上げる試みが評価され、「第 12 回神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞しました。〔A 評価〕</p> <p>「国際化に対応した行政サービスの提供」事業は、講座を企画・募集したものの、新型コロナウイルスの影響により開催できず、目標値が達成できませんでしたが、外国語版便利帳の配布や医療通訳の派遣により、概ね順調に事業を実施できました。〔A 評価〕</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、文化生涯学習部で所管する各施設においても休館となり、多くのイベントが中止となるなど、大きな影響を及ぼしました。</p> <p>今後は、市税の減収対策として事業の見直しを行うとともに、感染防止に注意を払いながら施設運営を行う中で、「新たな生活様式」に対応した事業展開を模索していきます。</p> <p>2021 年に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けては、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、ホストタウン登録した北マケドニア共和国との交流等をはじめ、スポーツ振興や文化交流、共生社会等の実現のための取組を進めます。</p> <p>次期文化生涯学習プランの策定については、新型コロナウイルス感染拡大により、当面の間先送りすることとしましたが、現プランのコンセプトを継承するため、令和 2 年度中に現プランの最終評価を行い、その結果を 3 年度以降の事業に反映していきます。</p> <p>次期ちがさき男女共同参画推進プランの策定についても、同じ理由により、先送りしますが、現プランの計画期間を延長し、ジェンダーに基づく固定的性別役割分担意識を解消するとともに、男女の地位の平等を確保するため、引き続き、あらゆる機会を捉えて、意識啓発に取り組みます。また、パートナーシップ制度についての調査、研究を進めるとともに、誰もが地域社会の一員としてお互いを受け入れ、認め合うまちづくりを進めます。</p>			